

健康への



シリーズ 132

痛風

光町のみなさんこんにちは。今回は痛風についてのお話です。ほんの少しの風があたっても患部が痛いという痛風は、以前は王様や貴族のかかる病気と考えられていました。しかし、飽食の現代では多くの人が罹患しています。痛風は血液中の尿酸の値が高値になり、関節内に炎症を起こし、排泄路である腎・尿路系に悪影響を起こします。

健康診断にて血清の尿酸値の測定が一般的に行われていますが、尿酸値が高い場合、痛風の発作が無い時は「高尿酸血症」と呼ばれて痛風の予備軍になります。正常値が男女別々に記載してありますが、実際は男女とも7・0 mg/dl未満です。血液中では7・0 mg以上になると結晶化してしまい各種の臓器に悪影響を起こすようになります。先に述べたように7 mgを超えても症状が出なければ「痛風」とはいえません。予備軍です。

痛風は、西洋ではエジプトのミイラにも認められ、アレキサンダー大王やルイ14世、ニュートンなどの有名人も痛風患者でした。しかし、日本には古い書物にも痛風にあたる記載はなく、明治22年に初めて報告され、戦後から本格的に増加しています。肉食やアルコール等の食生活の影響が考えられますが、関連は明らかではありません。

痛風の発作は足の親指の関節に起こること
が代表的です。関節内
で過飽和になった尿酸
塩が白血球に吞食され
炎症を起こす物質が産
生されて急性関節炎が
発症します。高尿酸血

症が長く続くと腎臓に沈着して障害を起こします。進行すると腎不全に至りますが、最近では早期の治療が行われてほとんど見られなくなりました。尿酸が腎臓から尿中に排泄され結晶化すると尿路結石となります。

高尿酸血症の治療は、血液中の尿酸を下げることで、血液の中に尿酸が増える原因には2つの機序が考えられます。尿酸はプリン体の多い食事やエチールアルコールの過剰摂取、比較的激しい運動をする人などに増加します。このように過剰に産生された尿酸による場合とてきた尿酸を腎臓から尿中に排泄する働きが悪い場合との2つに分けられます。尿酸産生過剰型と尿酸排泄低下型です。それぞれ投与する薬は違います。両者の区別は尿の成分の分析で可能です。

治療法としては、痛風発作や尿路結石を繰り返す例、何らかの腎障害が見られた場合や尿酸値が9・0 mg以上では尿酸コントロール薬の投与により、血清尿酸値を7・0 mg以下にすることが必要です。なお、痛風発作時には抗炎症薬が必要であり、尿酸値を下げる薬は発作を長引かせることもあるので使用しないほうが良いでしょう。食生活上も過飲、過食を避け、肥満の解消の為に有酸素運動などを長く続けることが大切です。

お知らせ

※相談窓口開催日 16日(水) 午前9時～正午
※救急当番日 26日(日)、30日(木)、1月3日(月)
午前8時30分～午後6時
医師2名が待機。来院の際はお電話を☎13335

東陽病院 院長 伊藤 文憲



おひざで



赤ちゃんと一緒に

楽しむ絵本



＝町立図書館＝
☎3311

冬の特別 おはなし会

楽しい劇や絵本の読み聞かせ
を行います。

日 時 12月11日(土)
午後2時～3時
場 所 図書館2階
ハイビジョンホール
定 員 80名
申 込 み 図書館カウンター
またはお電話でどうぞ。

『いないいないばあ』



松谷みよ子 ぶん
瀬川 康男 え (童心社)

『くだもの』
平山 和子 さく (福音館書店)

『びよん』
まつおかたつひで さく (ポプラ社)
この他にもおすすめ絵本や子育てに関する本がたくさんあります。詳しくは図書館へお尋ねください。

12月及び年末年始の休館日

12月6日(月)、7日(火)、13日(月)、20日(月)、27日(月)、29日(水)～1月4日(火)